文化財通信

その142

韮山反射炉の築造担当者「八田兵助」（その１）

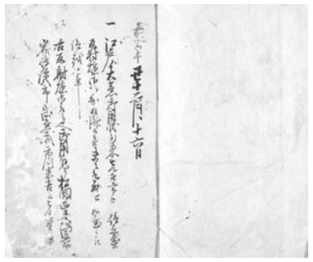
問 市役所文化財課
☎ 055-948-1428

韮山反射炉の築造を指揮したのは、もちろん江川坦庵公ですが、当然ながら現場で工事などの差図をする担当者が存在していました。幕府直営反射炉の築造決定にともない、嘉永６年（１８５３）12月16日、韮山代官所に勤める役人の中から、反射炉築造を担当する「反射炉御取建御用懸（おとりたてごようがかり）」が５人選ばれました（注１）。その内の一人が八田兵助です。彼は御用懸の中でも、築造予定地の選定や資材の調達をはじめ、中心的な役割を果たした人物として知られています。

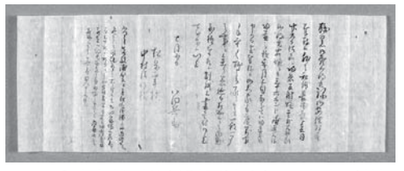
反射炉の築造・操業記録のひとつである「反射炉御取建中日記」によると、御用懸となった兵助は、12月20日、反射炉が当初築造される予定だった本郷村（現下田市）に、同役の山田熊蔵とともに早速視察に赴いています。併せて、木材や石材、レンガ用の土など、必要な資材の手配にも着手していました。さらに、翌安政元年（１８５４）１月12日には、工事を施工する大工・鋳物師（注２）・黒鍬（注３）らと、築造予定地の丁張り（注４）を行っています。まさに、現場監督といったところです。

兵助は、幕府による決定よりも前から、坦庵公の命により、来るべき反射炉築造工事に向けて研究を続けていたようです。それは、彼が反射炉築造の先駆者である佐賀藩に、視察のため派遣されていることからもうかがえます。佐賀藩は、長崎港の警備を担当していたため、早くから反射炉による鉄製砲の鋳造や、西洋式台場の築造に関心を持っており、嘉永３年（１８５０）には築地反射炉を完成させ、鉄製砲の鋳造に向けて実験を始めていました。

兵助が佐賀を訪れたのは、折しもペリー艦隊が浦賀に来航した嘉永６年６月から７月にかけてのことでした。この頃には、築地反射炉は本格的な操業に入っており、兵助としても、反射炉の築造方法や銑鉄による大砲鋳造の実際など、どうしても入手したい情報が数多くあったことでしょう。



反射炉御取建中日記
（公益財団法人江川文庫所蔵）



八田兵助書状（公益財団法人江川文庫所蔵）

この時の様子を、韮山代官所に伝えた兵助の手紙が、公益財団法人江川文庫に残されています。手紙の中で兵助は、反射炉での36ポンド砲鋳造を視察してから戻る予定だが、佐賀藩は大藩であるため、手続きに何かと手間がかかり、日程が延びて困惑していることなどをつづっています。とはいえ、こうして反射炉の実物と操業状況を目の当たりにできたことは、後に韮山反射炉を手掛けることとなる兵助にとって、大きな収穫だったに違いありません。

（注１）松岡正平・八田兵助・岩嶋源八郎・山田熊蔵・市川来吉の５人
（注２）大砲などの鋳造を担当する職人
（注３）整地・杭打ち・石積みなどの土木作業を担当する職人
（注４）工事前に、現地で建築物の位置や形、高さを出す作業

みんなの市民ハイキングinスプリング

参加者募集！

歴史のまち、韮山の史跡を巡る日帰りハイキングの参加者を募集します。親子での参加もできます。

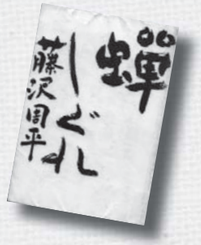
とき／５月28日（日）
集合８：30　出発９：00
集合場所／韮山時代劇場芝生広場
対象／小学生以上の市内在住または在勤者
60人（応募多数の場合は抽選）
参加料／１人100円（当日徴収します）

申込方法／はがきまたは専用申込用紙（スポーツ振興課窓口設置）に参加者全員の住所、氏名（ふりがな）、性別、年齢、電話番号、代表者を記入し、４月28日（金）までに提出。グループでの申し込みは４人まで可。
問 市役所スポーツ振興課　☎ 055-948-1460
〒410-2292　伊豆の国市長岡346-1

図書館だより

今月のおすすめ　～教育長のおすすめ本～

これまで図書館運営協議会委員に紹介いただいたおすすめ本。今回は教育長と生涯学習課長のおすすめです。



『蝉しぐれ』藤沢周平（著）

非業の死を遂げた父親の跡を継ぎ、主人公・牧文四郎がさまざまな困難を乗り越えて郡（こおり）奉行に出世する藤沢作品人気ナンバーワンの青春時代小説。河野教育長のおすすめ。　【中央】

『超光速ニュートリノとタイムマシン』竹内薫（著）

光より速いニュートリノのことを面白く解説している。相対性理論に興味のある人にはおすすめです。小森生涯学習課長のおすすめ。　【中央】

■『蜩（ひぐらし）ノ記』葉室麟（著）【中央・韮山】河野教育長おすすめ。
■『昭和史 1926-1945』半藤一利（著）【中央・韮山】河野教育長おすすめ。
■『海賊と呼ばれた男 上、下』百田尚樹（著）【中央・韮山】河野教育長おすすめ。
■『伊豆と世界史』桜井祥行（著）【中央・韮山】小森生涯学習課長おすすめ。
■『静岡と世界 - 静岡国際化事始め』桜井祥行（著）【韮山】小森生涯学習課長おすすめ。

■長岡図書館返却ポスト

閉館した長岡図書館の返却ポストは引き続き利用できます。ただし、返却処理までに数日かかることがあります。返却処理が終わらないと貸出冊数が制限されますので、中央・韮山図書館を利用する場合は直接図書館カウンターに返却してください。

図書館カレンダー
モバイル版QRコード

■４月のおはなし会
※いずれも土曜日

中央図書館
8日 11：00～
韮山図書館
8日、22日 14：00～
あやめ会館
15日 10：30～

４月の休館日
中央図書館 ３日（月）、10日（月）、17日（月）、24日（月）、28日（金）、29日（土・祝）
韮山図書館 ５日（水）、12日（水）、19日（水）、26日（水）、28日（金）、29日（土・祝）

開館時間（共通）９：00～17：30　問 中央図書館　☎ 0558-76-5566
図書館ホームページ http://www.izunokuni.library-town.com/